



指物、飾り金具、漆塗りの技術が融合「越前革筋」

現在は京都にお住まいの飯田様から「ふるさと紹介」のふうあちやんのお手紙が入っていました。手紙が入ったお便りには、こんなお手紙が入っています。

先日全日本ニュースを手に取った時に「ふるさと紹介」のふうあちやんのお手紙が目に入り、「前号、読ませていたがすく前に浮かんぐるよう書かれおり、とても感心いたしました。私は早や九十一歳を迎えようとしています。小学三年生のふうあちやんに負けないよう私の生まれ育った故郷を書いてみようと決心しました。(抜粋)

「1分で献立が決まるフレンチの考え方を食卓に!」より(一部省略・行替え等変更)

皆さん、ご存じですか、福井県越前市武生(たけふ)と云う町を。自慢する程の町ではないかも知れませんが、私にとっては生まれ育った故郷なのです。でも、有名な歴史の町でもあります。その故郷を皆様に知つ頂きたく、武生の町は昔から越前打刃物、越前革筋など、もの作りで有名な町なのです。私の生家のお隣りは鍛冶屋さんで、朝早くからトッテンカン、トッテンカンと刃物を打つ音と「フー」と「フー」という音を聞きながら大きくなりました。越前打刃物には毎日の生活に必要な包丁や鎌、若い方達にはベーパーナイフなどもあり、七百年の伝統の技は、今や欧米諸国からも高く評価されています。私たちの生活に欠かせない和紙産地として「今立五箇色」(と呼ばれています)、五千五百年前、村里に紙漉きの技を伝えた川上御前(おひらめ)と、新在、家、武生と隣町であった今立地区は越前が有名な地域です。越前和紙は越前革筋も忘れてはなりません。家具、越前革筋も忘れてはなりません。越前和紙も忘れてはなりません。そのうちの生活に欠かせない和紙産地として「今立五箇色」と呼ばれていました。

今回のふるさとも大変素晴らしいところでした。皆様のふるさと自慢申しあげております。お便りをお待ちしております。



あなたのふるさとを
皆様に紹介して
みませんか?

皆様の故郷や第二の故郷の、おいしい食べ物・素敵な場所・歴史などをお聞かせください。ちょっとした細かな事でもあなたの思い出深い事なら大歓迎です。ぜひこの作成基準上、11月30日までにご応募の方から選考させていただきます。

応募先
〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-3-16 2F
株式会社フォトサービス 全日本ニュース係宛

ワクワク読書三昧 vol.10

旬のオモシロイ×ためになる本のご紹介、第10弾。
通勤途中や、家事の合間に楽しんでください。

できなので、なんとかしてあげたい……という相談でした。内科医の私にとっては、「難題」です。うまく飛べない、走れない子どもたち。足腰の悩みを打ちあける大人たち。体の弱ったお年寄りでも、小さな子どもでも、誰もが簡単にでき、元気な足を取り戻す方法はないだろうか。なんとかしなければ!という強い思いで突き動かされ、保育園の方々と試行錯誤を重ねながら開発したのが、「ゆびのば体操」です。足指を広げて伸ばすだけのストレッチなので、老若男女、どんな方でも簡単にできます。(省略)

毎日の「ゆびのば体操」で理想的な状態を保ち、1人でも多くの方が、一生元気に歩けることを望んでやみません。

「はじめに内科医の私が、「足の指」を診ている理由」より(一部省略・行替え等変更)



1日3分でOKの足指ストレッチ「ゆびのば体操」!子どもでも、お年寄りでも簡単。1日3分の「ゆびのば体操」をするだけで、美しい姿勢になる!背筋力アップ!体幹が安定!柔軟性アップ!20年前の体がよみがえり、体中の痛みがウソのように消えていくと、各メディアに著者出演で話題沸騰!

『足腰が20歳若返る 足指のばし』
今井一彰/著
出版社/かんき出版
定価/1,300円(税別)

「記憶力日本一」を獲得し続ける著者が考案! 飛躍的に記憶力をアップさせるオリジナルドリル!

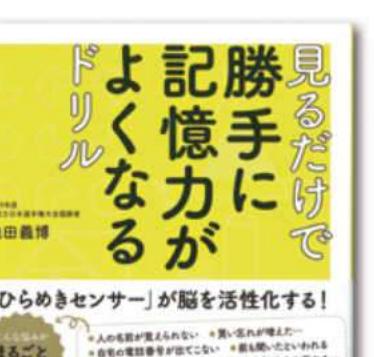
記憶力を奪う元凶は「つまらない」だった!

「近ごろもの忘れが多くて、少し心配」「お客様の顔と名前がなかなか覚えられない」または「資格試験の必須用語を暗記しないといけない」など、いろいろな場面で「もっと記憶力があったら」と感じたことがあるかもしれません。そんな人も、若いころはどんどん覚えることができたのではないかでしょうか。

じつは記憶力をアップさせるヒントは子ども時代にあります。自分自身が子どものことや、あなたのお子さんのことを思い出してください。子どもは乗りものや種類やゲームのキャラクターなど、びっくりするぐらいたくさんことを一瞬で覚えてしまいよね。なぜたくさん覚えるか? なぜ興味があるから? なぜ興味があるものにはワクワクしながら接しますね。こうした感情は、脳に大きなインパクトを残します。それが記憶の入り口である「海馬」の扉を開き、強く記憶に刻み込むのです。つまり脳にインパクトを与えて記憶に残りやすくすれば、簡単に覚えられるということです。しかし大人になると、覚えたいたいものはワクワクするものばかりではありません。でもご安心ください。この本では子どもの覚え方と同じように、脳にインパクトを与えて自然に記憶力をアップさせる方法をご紹介します。その方法とは、ものごとに見えて見方を変えるだけ。それだけで、気づいたときには記憶できるようになっているのです。(省略)

ドリルは各章に12問ずつ、合計60問用意しました。最初から順番通りに進めても、興味のある章から始めてもかまいません。どちらの場合も、章ごとに行うのがおすすめです。単純計算で1日2問ずつ進めると約1か月、4問ずつで約2週間、集中して10問ずつ進めると約1週間で完了します。これはあくまで目安ですから、ご自分のペースで進めて問題ありません。行う時間帯も自由ですが、頭がよく働く「起きてから午前10時まで」「午後4時から夕食前まで」の時間を使うのもいいでしょう。とにかく大切なのは楽しみながら進めることです。

「序章 記憶力の秘密」より(一部省略・行替え等変更)



「2019年度 記憶力日本選手権大会」優勝者、池田義博氏による一冊。記憶力をよくする力は「ひらめき」。ドリルに取り組むうちにひらめきを得る意識「ひらめきセンサー」が身につけば、自然に記憶力がアップ!「今さら記憶力って上がるの?」と半信半疑の方もぜひ試してみては。

『見るだけで勝手に記憶力がよくなるドリル』
池田 義博/著
出版社/サンマーク出版
定価/1,300円(税別)

そんな患者さんの「足」について悩んでいたときのこと。知り合いの保育士から「子どもたちの足に異変が起きてるんです!」と、数百もの「子供の足型」を持ち込まれました。それは、足が変形してしまった子どもたちは、よく転ぶうえに、飛んだり走ったりがうまく

「ワクワク読書三昧 vol.10」に掲載いたしました本を抽選で各1名様にプレゼントいたします。応募方法はおハガキにお名前・住所・電話番号・希望の本の名前を記載の上、右記の住所までお送り下さい。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

応募先
〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-3-16 2F
株式会社フォトサービス「ワクワク読書三昧」係宛